

## 「WEB オープンデータ基盤整備事業」について

### 1 概要

公共データの民間開放であるオープンデータ（※）の取り組みが進められ、公共データを利用した新ビジネスの創出が期待されています。

しかし、現状ではWEBサイト上で既に公開されているデータの多くが、コンピューターで利用しにくい（機械での判読が難しい）状態で提供されているため、本市においても、民間事業者等が簡単に利用できない状況にあります。

そこで、県の「緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用して、事業の委託による雇用創出を行うとともに、本市WEBサイト上のデータをコンピューターで利用しやすい形に整理し、市民の皆様や民間事業者等が公共データを利用しやすい環境を整備します。

#### ※ オープンデータの概要

公共データ（公的機関が保有しているデータ）のうち、インターネットを介して、コンピューターで利用しやすい形でデータを公開すること。

### 2 事業内容

- (1) 事業の実施においては、民間企業またはNPO等に委託します。受託事業者は失業者を雇用するとともに、本事業を通してICT人材の育成を行います。
- (2) 本市WEBサイトのメニュー体系に基づき、本市WEBサイト上のデータを項目ごとに分類し、整理します。また、PDFファイル等のコンピューターで利用しにくい形式のデータは、利用しやすいデータ形式に作り直します。  
それにより、本市におけるオープンデータの推進に向けて、データ基盤の整備に取り組めます。
- (3) 整備したデータを利用した具体的な活用方法を検討することで、受託事業者の新規事業検討の一助とします。

### 3 事業による雇用予定者

データ入力者 (新規雇用者)	16名	横浜市 WEB サイト上の情報の分類、整理を行う。
データ入力者管理者 (新規雇用者)	3名	横浜市 WEB サイト上の情報の分類、整理を行うほか、データ入力者の補助・支援を行う。
システムエンジニア	1名	データ入力者及びデータ入力者管理者に対し、技術的な指導・支援を行う。

### 4 実施期間(予定)

契約締結から平成 26 年 3 月 31 日まで